

平成21年度

まちの決算と仕事

平成21年度決算が、9月に行われた平成22年第3回富谷町議会定例会で認定されました。

町民の皆さんに納めていただいた税金や各種料金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の決算状況や総合計画の3つの将来像に沿ってまちの主な仕事をお知らせします。

問企画部 財政課 (☎358-0619)

目次 CONTENTS

- 2 一般会計の決算状況
- 4 まちの主な仕事
- 8 特別会計と水道事業会計の決算状況

富谷町では、5万人都市と町民の皆さんが主役となる新しいまちづくりを進めるため、計画的な町政運営の基礎となる新総合計画（H21～H30）を策定し、スタートしています。

まちづくりの基本理念

幸せを実感でき 笑顔輝く あったかい富谷

子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち・すべての世代が生き生きと暮らせるまち

将来像

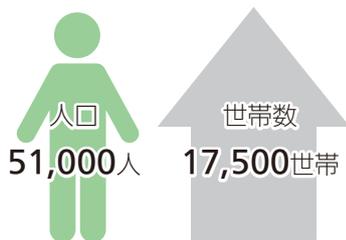
豊かな自然環境と活力ある地場産業を自慢と誇りにできるまち

町民と町が直接つながるあったかいまち

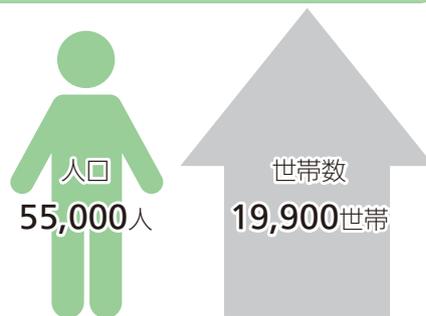
将来の人口と世帯数 ※平成22年は8月末の住民基本台帳人口です。平成25年と30年は推計人口です。



平成22年(2010年)



平成25年(2013年)



平成30年(2018年)

平成21年度 一般会計の 決算状況

・歳入 103億4,332万円
 ・歳出 96億6,705万円
 ・実質収支 5億9,153万円

実質収支は、歳入と歳出の差引額から平成22年度に繰り越すべき財源8,474万円を差し引いています。平成22年度の事業に充てるほか、平成22年度以降に町のお金が不足する場合は貯金として、基金に積み立てました。

▶自主財源(61.5%) 63億6,158万円

地方公共団体が国に依存せず自ら調達できる財源。代表的なのは町税で、その他に諸収入、使用料・手数料、繰越金などがあります。

地方財政の自主性と安定性を確保するうえでは、歳入全体に占める自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

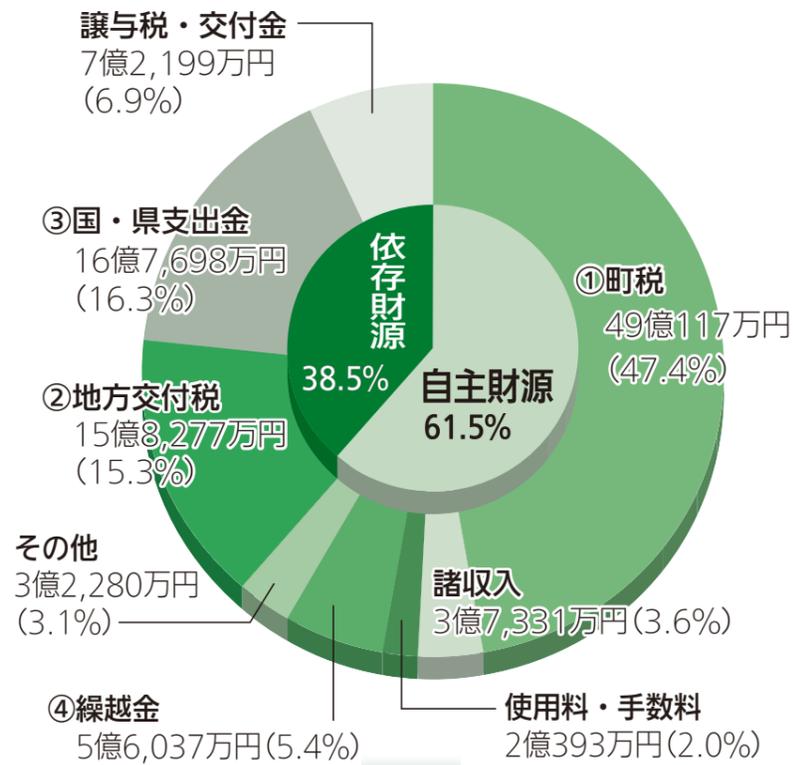
▶依存財源(38.5%) 39億8,174万円

自主的に収入できる自主財源に対し、国・県の決定や割り当てに基づいて収入するものをいいます。国・県支出金のほか、譲与税・交付金などが該当します。

用語解説

- ①町税
皆さんが町に納めた税金（町民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- ②地方交付税
全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- ③国・県支出金
国や県が使いみちを決めて交付するお金です。
- ④繰越金
平成20年度から平成21年度歳入へ持ち越されたお金です。

歳入 103億4,332万円

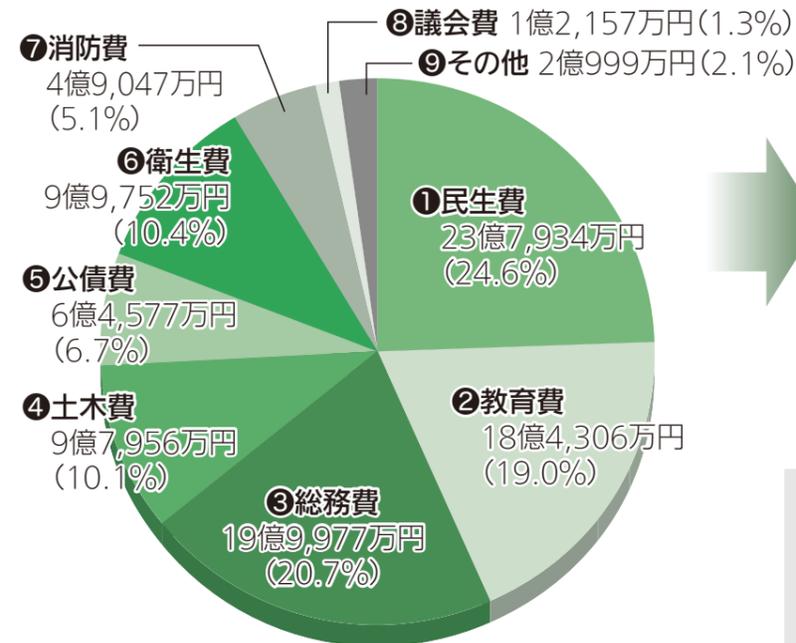


一人あたりに換算すると……21万9,087円

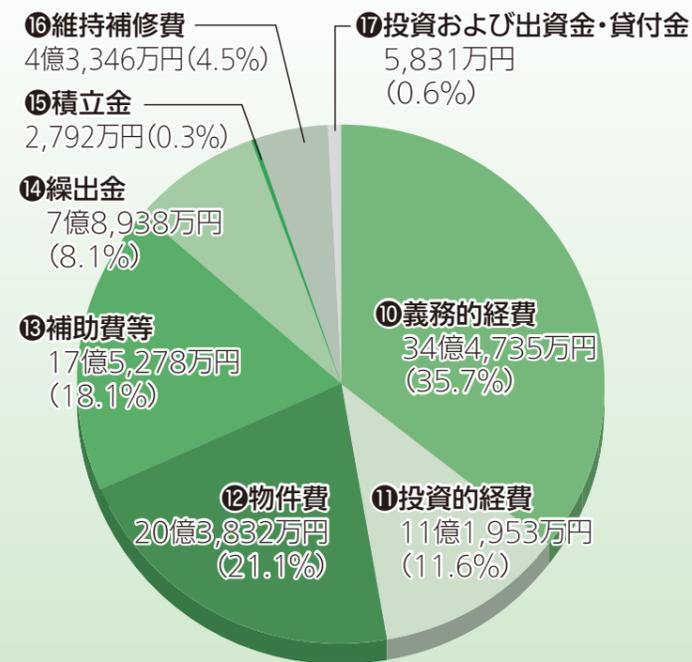
①町税	10万3,815円	<ul style="list-style-type: none"> ●町民税 5万2,185円 ●固定資産税 4万5,829円 ●町たばこ税 4,363円 ●軽自動車税 1,349円 ●入湯税 74円 ●特別土地保有税 15円
②地方交付税	3万3,525円	
③国・県支出金	3万5,521円	
譲与税・交付金	1万5,293円	
使用料・手数料	4,320円	
諸収入	7,908円	
④繰越金	1万1,870円	
その他	6,835円	

※H22.3.31の住民基本台帳人口47,211人で「一人あたり」を算出しています。

歳出 96億6,705万円



性質別に見ると…



義務的経費の割合が小さいほど、自由に使えるお金が多く、健全な財政運営ができています。投資的経費は資本形成のため将来に残すものとして使ったお金です。財政に余裕があると、いろいろな事業を行うことができます。

一人あたりに 換算すると……

20万4,763円

- ①民生費 ……5万 398円
- ②教育費 ……3万9,039円
- ③総務費 ……4万2,358円
- ④土木費 ……2万 749円
- ⑤公債費 ……1万3,678円
- ⑥衛生費 ……2万1,129円
- ⑦消防費 ……1万 389円
- ⑧議会費 ……2,575円
- ⑨その他 ……4,448円

※H22.3.31の住民基本台帳人口47,211人で「一人あたり」を算出しています。

用語解説

- ①民生費
児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費
- ②教育費
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費
- ③総務費
防犯灯、交通安全施設整備、町内会館整備などの経費
- ④土木費
道路の管理や改良、町営住宅、公園管理などの経費
- ⑤公債費
町が借りたお金やその利子を返還するための経費
- ⑥衛生費
生活ごみの処理や運搬、予防接種などの経費
- ⑦消防費
消防団活動や消防施設維持管理などの経費
- ⑧議会費
議員報酬や議会活動の経費
- ⑨その他
労働費、農林水産業費、商工費などの経費
- ⑩義務的経費
人件費、扶助費、公債費などの経費
- ⑪投資的経費
普通建設事業費、災害復旧事業費などの経費
- ⑫物件費
賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、委託料、使用料・賃借料などの経費
- ⑬補助費等
各種団体に対する助成金や報償金、役務費などの経費
- ⑭繰越金
一般会計と特別会計相互間で支出される経費
- ⑮積立金
基金へ積み立てる経費
- ⑯維持補修費
町が管理する道路や学校などの施設の維持や修繕などの経費
- ⑰投資および出資金・貸付金
黒川病院への出資金などの経費

平成21年度に実施した まちの主な仕事

「富谷町総合計画」の3つの将来像に沿って、平成21年度に実施した主な仕事を紹介します。

新：新規事業 拡：拡大事業



平成22年3月、人口4万7千人に到達しました。5万人都市を目指したまちづくりを進めています。

将来像 1 子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち すべての世代が生き生きと暮らせるまち

未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実

学び続けることのできる環境の整備

安心して子育てのできる環境の整備

誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり

▶ 学校教育課

新 学校給食センター整備事業…………… 1億5,702万円
児童・生徒数の増加と施設の老朽化に伴い、新学校給食センターを移転・新築する為、用地買収・造成、工事設計業務委託を行いました。



学校給食センター完成予想図

拡 町立小学校運営・維持管理事業…………… 1億5,067万円
小学校7校に配置している特別支援教育支援員の賃金を含めた学校運営・管理費です。快適でより良い教育環境を目指し、あけの平小学校、日吉台小学校のコンピューター教室に空調設備を設置しました。

新 小学校トイレ・強化ガラス改修事業…………… 5,681万円
安全で、より良い教育環境を目指し、あけの平小学校・日吉台小学校のトイレ・強化ガラスの改修工事を行いました。

▶ 生涯学習課

拡 公民館運営・維持管理事業(6館) …… 1億2,638万円
公民館6館の運営管理費です。従来の公民館まつり、各種教室、放課後児童健全育成事業、図書室蔵書の充実に加え、図書専任職員の配置や空調設備の設置などを計画的に行いました。

拡 総合運動公園維持管理事業…………… 9,082万円
富谷スポーツセンターや武道館などの運営管理費です。武道館の空調設備の設置工事を行いました。

拡 町立中学校運営・維持管理事業…………… 1億50万円
中学校5校の運営・管理費です。快適でより良い教育環境を目指し、富谷中学校、日吉台中学校のコンピューター教室に空調設備を設置しました。

拡 町立小学校・中学校図書推進事業…………… 2,946万円
小学校図書館指導員配置の実績を受け、中学校にも学校図書指導員を配置し、系統的な読書活動を推進し、考える力や創造力の向上等、学習への効果も期待できる取り組みを行いました。



拡 町立幼稚園運営・維持管理事業…………… 2,226万円
町立幼稚園2園の運営・管理費です。快適で、より良い幼児教育環境を目指し、救護室となっている幼稚園事務室、大ホールに空調を整備し、幼児教育環境の整備充実を図りました。

新 西成田地区コミュニティセンター運営・維持管理事業… 3,909万円
西成田地区コミュニティセンター活性化検討委員会とともに今後の活用方法を検討し、一部改修工事を行いました。



重点プロジェクト

国の緊急経済対策への対応や総合的な業務の推進が必要な案件に対し、庁内を横断的に機能させ、企画立案を行いました。

● 国の緊急経済対策関係

国が景気対策の一環として、地方の活性化を図る目的で交付した「地域活性化臨時交付金」について次のとおり各事業に充当しました。

○ 地域活性化・経済危機対策臨時交付金 (1億2,675万円)

新型インフルエンザワクチン接種費用助成事業、住宅太陽光発電システム普及促進事業等

○ 地域活性化・公共投資臨時交付金 (221万円)

町道側溝整備事業

○ 地域活性化・きめ細かな臨時交付金 (6,653万円)

調整池フェンス修繕事業、大亀山森林公園施設修繕事業等を平成22年度へ繰越して実施します。

● 部制移行推進プロジェクト設置

(平成21年11月20日発足)

3課7名の職員で構成するプロジェクトチームを発足し、平成22年4月1日施行の部制に向け、事務執行上の効率的な課の配置、関係規則等の整備、講演会の開催、町民への適切な業務案内など、さまざまな条件整備を行いました。

● 市制検討プロジェクト設置

(平成21年12月24日発足)

4課8名の職員で構成するプロジェクトチームを発足し、市制移行の意義、町政と市政運営の違い等、現状分析と具体的な検討を進めることとしました。

▶ 子育て支援課

拡 保育所運営・維持管理事業…………… 1億5,328万円
町内4保育所の運営・管理費です。子どもたちの明るく健やかな成長を促進するために、遊戯室などに空調を整備し、保育環境の整備充実を図りました。



拡 認可保育所運営事業…………… 2億840万円
町内2園の運営・管理費です。待機児童解消・保育サービスの充実を図りました。

拡 妊婦支援事業…………… 4,457万円
健やかな妊娠期を過ごし安全な出産を迎えられるように、妊婦一般健康診査(公的負担)を14回に拡大しました。



拡 乳幼児医療費助成事業…………… 1億514万円
乳幼児を持つ家庭の経済的負担を軽減し、適切な診療機会を確保しました。

新 児童手当支給事業…………… 4億3,903万円
国の経済対策として実施した児童手当支給事業と定額給付金を併せて、安全かつ迅速に給付しました。

▶ 健康増進課

拡 感染症予防事業…………… 4,413万円
新型インフルエンザ対策として行動計画の策定とともに、高校生以下(ただし1歳未満は除く)および65歳以上の方などの優先接種対象者の皆さんに県内市町村で唯一接種費用を全額助成し、罹患者を最小限に抑えるため迅速に対応しました。

拡 住民検診事業…………… 1億172万円
30歳代を対象とした健康診査「健幸30」や各種がん検診、脳検診を実施し、健康管理の一翼を担いました。また、国の経済対策として女性特有のがん検診推進事業を実施しました。



▶ 長寿福祉課

拡 あったか・ほっとな地域づくり事業(敬老祝い事業) … 3,497万円
地域で主催する敬老行事へ助成するあったか・ほっとな地域づくり事業を実施しました。また、80歳以上の方に対して敬老祝い金をお贈りしました。



拡 高齢者在宅生活支援事業…………… 1,472万円
高齢者やその家族の方が住み慣れた地域で安心して安全に暮らせるように生活支援および介護予防・生きがい活動の支援を行いました。

拡 障害者自立支援給付事業…………… 1億8,935万円
第2期障害福祉計画を策定し、居宅介護をはじめとする福祉サービスを提供して、障害者とその家族への支援に努めました。

将来像 2 豊かな自然環境と活力ある地場産業を 自慢と誇りにできるまち

企業誘致による新たな就業の場の提供

地域資源を活かした魅力の向上

『居住の場』として選択され続けるための環境づくり

安心して生活できる環境づくり

産業振興課

拡 企業誘致事業…………… 990万円
自立できるまちおよび産業の振興、雇用の場の拡大を目的に、企業立地促進奨励金、雇用促進奨励金を対象企業に交付し、工場など事業所の立地促進、並びに規模拡大等の支援を行いました。

拡 農業振興事務…………… 1,115万円
富谷250園芸促進事業の推進、認定農業者の育成、ビニールハウス等への助成を行い、農業生産の増加と農業経営の安定を図りました。



大型店舗で富谷産の野菜などを販売する「おんないん会」

拡 ブルーベリー産地拡大事業…………… 124万円
町の特産品であるブルーベリーを「摘み取り体験」や「お菓子づくり」などを通じて、町内外へのPRに努めました。また、栽培資材などの支援により栽培面積の拡大および販路拡大に取り組みました。



拡 観光物産振興対策事業…………… 103万円
仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会を通じて、「十三夜 魂のふるさとまつり」等、富谷町のイベントをPRしました。また、町の観光振興および物産振興を図るため観光ガイドブックを作成し、富谷町のPRを行いました。

都市整備課

拡 道路維持管理事業
○除草・樹木剪定・除融雪等…………… 2億1,947万円
○太子堂地区側溝整備…………… 1,171万円
○東向陽台地区側溝整備…………… 2,079万円
○町道常春5-1号線側溝整備…………… 305万円
○町道富谷12-1号線側溝整備…………… 347万円

拡 道路改良事業
○町道穀田線歩道新設工事…………… 9,352万円
○町道学校前線歩道改良工事等…………… 5,671万円
○町道沼田線道路改良工事…………… 3,512万円
○町道大童・今泉線舗装補修工事…………… 1,934万円



拡 一般公園維持管理事業…………… 7,420万円
施設の巡回・点検、除草を年3回実施するなど、安全で安心な公園環境の保全に努めました。

拡 清水沢・宮ノ沢住宅建替事業…………… 1億360万円
町営清水沢住宅の5棟10戸を建て替えしました。



拡 防犯灯整備事業…………… 6,044万円
安心・安全な環境整備として、防犯灯の新規設置および建て替え65基、維持修繕290基を実施しました。

拡 道路交通安全施設整備事業…………… 2,120万円
道路交通安全の確保を図るため、カーブミラー等の安全施設を設置しました。



生涯学習課

拡 十三夜 魂のふるさとまつり運営事業…………… 550万円
ふるさと富谷の歴史と絆をつむぐ、町民4万6千人総参加のまつりとして、町内会や各団体の協力のもと2日間にわたり開催。昨年を上回る延べ3万8,000人の来場者の方で、しんまち地区が賑わいました。



総務課

拡 消防団設置・運営事業…………… 1,515万円
消防団員の研修や訓練等を行い、富谷町消防団の消防力強化を図りました。

将来像 3 町民と町が直接つながる あったかいまち

住民との協働によるまちづくり

効果的・効率的な行政経営

経営企画課

拡 長期総合計画推進事業…………… 638万円
新たな総合計画に基づき、自立した5万人都市へのまちづくりがスタートしました。計画を着実に推進するため、計画書の作成・配布のほか、各事業や施策の管理・調整に努めました。



新 定額給付金給付事業…………… 7億314万円
平成20年度からの継続事業としてプロジェクトチームを編成して取り組みました。安全・迅速に給付を行った結果、給付率は99.3%（15,301世帯）となりました。※平成21年度で終了

拡 行政情報紙発行事業…………… 899万円
「広報とみや」を発行し、タイムリーに町の施策や家庭向けの情報などを広く町民の皆さんに提供し、積極的な町政参加を促進しました。また、進出企業の従業員の富谷町への居住促進を目的に、学校教育・子育て支援を紹介する冊子やPRポスターを作成しました。

町民生活課

拡 一般廃棄物収集運搬処理事業…………… 1億6,242万円
可燃ごみ、缶・びんなどの資源ごみを収集運搬し、適正な処理に努めました。また、燃えるごみの祝日回収を開始しました。

拡 合併処理浄化槽設置事業…………… 500万円
公共下水道処理区域外に設置した家庭用合併処理浄化槽7基の設置費用の助成などを実施しました。

拡 地球温暖化対策推進事業…………… 1,575万円
太陽光発電設備設置費用とクリーンエネルギーカー購入費用に対して助成しました。



完成した町下町内会館 (平成22年2月)

総務課

拡 町内会館整備事業…………… 8,955万円
地域の自主的・主体的な活動の場として、町下会館の建替工事や東向陽台第一会館の改築工事などを進めました。

拡 自治振興事業…………… 1,378万円
44行政区へ活動補助金を交付しました。また、年4回の行政区長会議を通して、各地域の課題を共有し、行政サービスの充実を図りました。

財政課

拡 公有財産維持管理事業…………… 7,246万円
役場庁舎や町所有の土地など、点検・整備等によって適切な維持管理に努めました。

税務課

拡 納税意識高揚・収納率向上事業…………… 1,919万円
納期内納付の推進や滞納額の削減に努めました。

特別会計・水道事業会計の決算状況

●特別会計

特定の事業を行うために、一般会計とは別に計上される会計を特別会計といいます。平成21年度は、6会計とも赤字決算がなく、健全な運営に努めました。

会 計	収入済額	支出済額	内 容
老人保健特別会計	594万円	491万円	医療費の支給など。
国民健康保険特別会計	32億3,155万円	31億3,803万円	医療費の支給、特定健康診査など。
下水道事業特別会計	7億7,821万円	7億4,642万円	公共下水道の整備など。
介護保険特別会計	13億2,829万円	12億8,883万円	介護サービス給付費など。
介護サービス事業特別会計	293万円	293万円	デイサービス事業、介護予防支援事業など。
後期高齢者医療特別会計	1億6,920万円	1億6,800万円	後期高齢者医療広域連合への給付金など。

●水道事業会計

水道事業会計は、一般会計とは異なり企業会計の方式によって経営しています。安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を計画的に行っています。

会 計	収入執行済額	支出執行済額	内 容
収益的収支	9億6,284万円	10億8,025万円	収入のほとんどは水道料金。支出は職員給与や固定資産の減価償却など。
資本的収支	2,155万円	2億9,854万円	支出は施設整備などの資産取得などです。

将来にわたり安定的な行政経営を行えるよう 健全な財政運営に努めています

●健全化判断比率・資金不足比率

富谷町はすべての指標において基準をクリア。健全な財政運営を行っています。

○健全化判断比率

一つでも基準を超えた場合、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。富谷町は赤字の会計がないことなどで、赤字比率・将来負担比率は算定されません。

区 分	富谷町	基準値	内 容
実質赤字比率	—	13.91	一般会計の実質赤字額と標準財政規模に対する比率。
連結実質赤字比率	—	18.91	すべての会計の実質赤字額と標準財政規模に対する比率。
実質公債費比率	1.0	25.00	公債費・公債費に準じた経費と標準財政規模に対する比率。
将来負担比率	—	350.00	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債と標準財政規模に対する比率。

○資金不足比率

富谷町の公営企業会計（水道事業、下水道事業、介護サービス事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断する新たな指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取り組みが必要となります。

●町の貯金(基金)と借金(町債)

借金残高は減少、
基金は前年度水準を維持

平成21年度の町の借金残高は、平成20年度から約5億5千万円減少しています。貯金（基金）はほぼ前年度水準の維持で推移しており、将来に向けて新たなまちづくりの展開やサービスの充実を図っています。

